

「しあわせな未来のいなか」

スーパーシティに関する問合せ

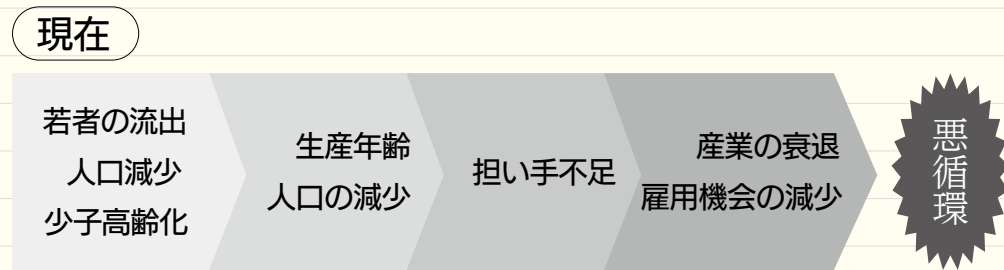
仙北市地方創生・総合戦略室
 (田沢湖庁舎) ☎43-33315

仙北市は、少子高齢化、担い手不足、基幹産業の振興などの地域課題を解決するため、すでにある技術を新たに組み合わせた「ちよつと新しい技術」の早期適用と先端的技術の中長期的な適用を目指し、4月16日に内閣府の「スーパーシティ構想」に応募しました。

人工知能やデータ連携などの情報技術の活用により、「健康」「農業」「観光」「移動」「行政」の五分野で先端的サービスを導入し、担い手不足の解消、産業の活性化、雇用機会の増加などの実現に取り組めます。

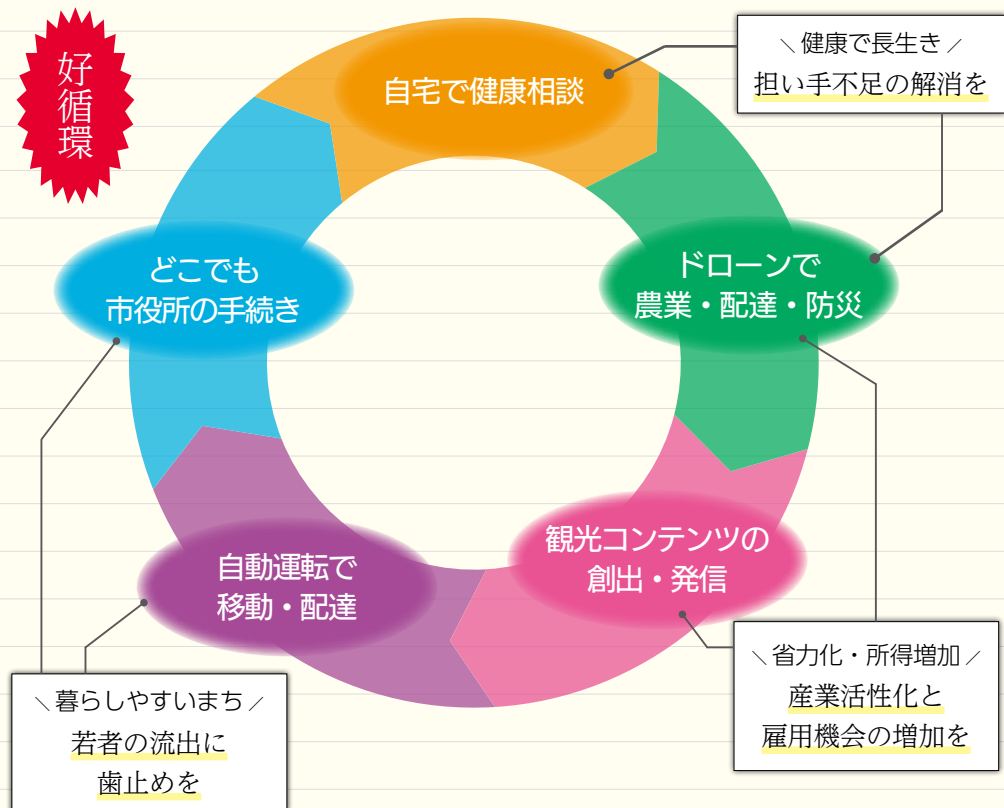
取り組みを通して、次世代を担う子どもたちが仙北市の将来像に希望を持てる、誰一人取り残さない持続可能な社会の構築を目指します。

仙北市スーパーシティ構想のイメージ



「悪循環」を「好循環」に

未来 先端的サービスを導入して地域課題を解決！



五つの取り組み

- 01 健康
- 02 農業
- 03 観光
- 04 移動
- 05 行政

01 健康長生き

メッセージアプリやオンライン面談を使用して、健康に不安を抱える市民への健康サポートを実施するとともに、健康診断の蓄積情報と人工知能などを活用し、個人に合った健康な生活を送れるサービスの提供を目指します。



02 稼げる農業

センサーやドローンなどを使用して農地の状況を把握するとともに、栽培、販路、物流などの情報を蓄積、共有することで、作業負担が少なく、未経験者でも取り組みやすい、稼げる農業の実現を目指します。



04 便利な移動

市民と観光客、乗客輸送と貨物輸送を統合したサービスをつくり、車両の稼働状況を改善することで、公共交通の運行範囲やダイヤを維持・充実させ、自家用車なしでも便利に市内を移動できるサービスの提供を目指します。



05 どこでも市役所

市役所に行かずに、スマートフォンなどで公共施設の予約や簡単な行政手続きができるサービスの提供を目指します。また、市民の年齢、住んでいる場所などに応じて、市民サービスや防災などの情報提供を目指します。



教えて！スーパーシティ！

「スーパーシティ」って何ですか？

スーパーシティは、2030年頃に実現される未来社会の先行実施を目指して、国と自治体、地域住民、企業などが一体となって取り組むまちづくりです。内閣府の公募に31自治体が応募しています。その中から、指定地域が決定されます。

市民のデータを利用するようですが、個人情報保護されるのですか？

個人情報の利用は本人の同意を得たうえで行います。また、スーパーシティの取り組みは、国の基準にもとづくセキュリティ対策のもと、個人情報などのデータの安全管理を徹底します。

実施には、多額の費用がかかり、市の財政を圧迫しませんか？

内閣府の指定地域に選ばれれば、関係府省庁の財政的な支援が受けられる見込みです。

選定されたら、どうなりますか？

市民の皆さまと話し合いを重ねながら、1年間かけて基本構想を練り上げます。